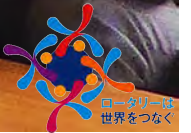


2 ガバナー一月信



目次

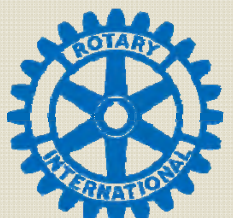
ガバナーメッセージ	1	ストリングスアンサンブルの調べ活動報告	13
ガバナーノミニを拝命して	2	第2回RAC地区行事報告	15
第1回派遣学生オリエンテーション ・クリスマス会・スキー国際交流	3	ガバナー公式訪問日程	17
2020年度 米山奨学生選考試験を終えて	5	新会員紹介／訃報	18
奉仕の原点—1A献血キャンペーン	7	12月末会員数及びMyRotary登録率	19
越後春日山RC主催 公開講座報告	9	予定表 2月-3月	20
新発田ロータリークラブによる こども食堂支援事業について	11	ロータリーコーディネーターNEWS	21
		ハイライトよねやま	22



国際ロータリー第2560地区 2019-20年度ガバナー事務所

〒943-0834 上越市西城町2-3-9
TEL : 925-512-1435 FAX : 025-512-5854
E-MAIL m.otani@rid2560niigata.jp

Rotary





ガバナーメッセージ

国際ロータリー第2560地区
2019-20年度 ガバナー
大谷光夫（高田RC）

ロータリアンの皆様こんにちは。

令和2年、新しい年も早や一ヶ月が過ぎましたが皆様にはお変わりなくお健やかに過ごしのことと存じます。

それにしてもこれほど雪がない年は今まであったのでしょうか。少なくとも私がロータリアンになってからの45年間では記憶にありません。

これは新潟だけでなく全国的にも雪が少なく暖冬とのこと。無論それは日本だけではなく世界的地球規模での話だということです。

何にしてもどうしようもないという感じもしますがとにかく今年一年災害がなく平穏な世の中であってほしいと願い祈るばかりです。

ガバナー公式訪問は昨年12月中に終える予定でしたが私の思わぬ体調不良によりご迷惑をお掛け致しました。2月10日の高田東RCを最後に終了致します。ご協力大変ありがとうございました。

ところで私の所属する高田RCではこのほど高田さくらロータリー衛星クラブを立ち上げました。取り敢えず13名の会員で認証を受けてスタート致します。会員増強のひとつの形 ひとつの方法としてはいいのかなと思います。

国際ロータリーとしてはとにかく一人でも多くの会員を増やすべくさまざまなことを考えて実行に移しています。勿論会員増強はとても大切で異存はないのですが、私は増強と退会防止はセットになっていてどちらも同じ位重要なものと思っています。考え方によっては退会防止の方が難しく大変とさえ思われます。

とにかく言い古された言葉かもしれませんが私の持論でもあり方針でもあります『楽しいロータリー、ロータリーは楽しく』でなくてはなりません。楽しければ会員は増え退会は減ります。

皆様方にはそこに向かって知恵を出して頂けたらと存じます。

さて2月は『平和と紛争防止／紛争解決月間』です。現在世の中は紛争だらけです。まさに『浜の真砂は尽きるとも世に戦争の種は尽きまじ』です。私たちには遠いことのようにですがそれらについて真面目に思いを致すことが大切でひいてはいずれ紛争を解決することにつながるのではないのでしょうか。



ガバナーノミニーを拝命して

2019-20年度
ガバナーノミニー
高尾茂典（新潟中央RC）

2020年新しい年を迎え皆様にとって明るく希望に満ちた年になります様願っております。2021～22年度、2560地区ガバナーとして、あと半年でエレクトとしてスタート出来るようにパストガバナー、大谷ガバナー、佐藤エレクトの皆様からのご意見ご指導を頂きながら新潟中央ロータリークラブ、現 次年度のアシスタントガバナーの皆様にも加わって頂いてノミニースタッフ会議等を開きながら準備を進めております。

振り返ってみますと、昨年6月山崎パストガバナー（ガバナー指名委員長）からノミニー要請のお話を頂きましたが、私にとってガバナーは現実の話として受け止められず、私が務まるイメージでは無いと思い辞退させて頂きました。

その後もパストガバナーの皆様からお忙しい中、何度もご足労頂き誠に恐縮しております。

大谷ガバナーのクラブ訪問時に、国際ロータリーも大きな変革の流れの中にあり2560地区のガバナーの業務や取り組み方についても改革を進めていく方針等お聞かせ頂き、また多くのパストガバナーの皆様からの熱いエールを送り続けて頂いた事等、改めて考えさせて頂き、お陰様で『ロータリーは喜んで はい or YES』という言葉に辿り着きました。

大反対の家内も何とか説得し昨年11月16日から4日間、神戸ポートピアホテルでの34地区のノミニー研修と一緒に参加致しました。朝8時から17時まで4日間缶詰状態での研修、夜は毎晩晩餐会が行われ、皆様との親睦を深め、同期ノミニーの皆さんとの意見交換は大変有意義な時間となり、私にとってもロータリーに入会以来、初めての学びの多い、充実した4日間を経験させて頂きました。財団の仕組みや目的、ロータリー活動の中での重要な位置づけ、ロータリーの原点 基本からの変遷、そしてこれからのロータリーについて学び、RLI（ロータリーリーダーシップ研究会）についても大変新鮮で、将来のロータリーの発展には欠かせないテーマと受け止めてまいりました。DL（ディスカッションリーダー）の育成やRLIを地区で学び、いずれ登録する方向に進む必要があると強く感じてきました。

これからもしっかりと準備を進めてまいりたいと思いますので、クラブ・第二分区そして2560地区ロータリアンの皆様、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



第1回派遣学生 オリエンテーション・クリスマス会・ スキー国際交流

2019-20年度
青少年交換委員会委員長
三牧好起(頸北RC)

12月21日(土) ホテルハイマートにて、第1回派遣学生オリエンテーションを開催しました。出席者は、長期・短期派遣予定学生と保護者、大谷 光夫地区ガバナー、佐藤 真ガバナーエレクト、スポンサークラブ、ROTEXの皆様です。オリエンテーションでは、「派遣学生に必要なロータリー知識、ロータリー交換学生としての心構え、派遣の中止と注意事項、予防接種、危機管理システム(YESS)の操作説明」等を説明しました。オリエンテーションは、合計4回予定しておりますので、関係者の皆様におかれましては、引続きのご協力をよろしくお願い致します。

○長期派遣予定学生 (スポンサークラブ)

平岩 日向(新潟南RC)、小山 さくら(新潟南RC)、亀屋 明日香(越後春日山RC)、
太田 温花(長岡エリアRC予定)、飯吉 竜之輔(高田東RC)、猪又 康成(糸魚川RC)

○短期派遣予定学生 (スポンサークラブ)

塚原 萌琴(高田東RC)、大滝 果央(村上RC)、関根 雄紀(白根RC)、後藤 蓉(新潟東RC)

オリエンテーション後は、同会場にて当地区へのインバウンドの学生3名とホストファミリーの

皆様からも参加して頂きROTEX主催クリスマス会を開催しました。ROTEXの企画したゲームや来日学生やホストファミリーのスピーチで盛り上がるクリスマス会となりました。

また、12月26日～28日と妙高市にてスキー国際交流を開催しました。小雪の為、残念ながら予定していたスキーはできませんでしたが全国から集まる留学生と交流を楽しみました。次回のスキー国際交流は3月6～8日の二泊三日で妙高杉ノ原スキー場にて行います。ご興味がある方がいらっしゃいましたらぜひご参加ください。





2020年度 米山奨学生選考試験を終えて

2019-20年度
米山記念奨学委員会
奨学生選考委員長
鈴木公子（柏崎中央RC）

1月19日土曜日、新潟市の万代シルバーホテルにて米山奨学生の選考試験、個人面接（ひとり18分）グループディスカッション（30分）が行われました。

過去には何度か大雪となり、留学生たちにとっては、会場へ来ることも困難な時もありましたが、今年は天気にも恵まれ、雪の無い選考会となりました。

新規採用15名に対し、応募は44名。応募する時点でも、大学側から推薦を受けなければいけませんから、かなりの狭き門となります。

留学生にとって、ほかの奨学金と違い、返済義務が無いことが素晴らしいことなのですが、それ以上に、世話クラブやカウンセラーがつくこと、各種ロータリーの行事にも参加できること、更に、選考された学生には、将来、学友会に入ることができて、そのステータスは一生継続するので、選ぶ私たちも非常に緊張します。

8時50分には委員の皆様にご集合いただき、綿密な打ち合わせをして面接へと臨みます。

毎年のことながら、学生たちは緊張でがちがちです。まずはリラックスしてもらい、いろいろなお話を聞かせていただきます。

面接では、自分なりに考えてきた話を、上手に話してくれるのですが、それだけでは個性は見出せません。その点、2560地区で実施しているグループディスカッションは、当日発表されたお題に対してのものです。7～8人のグループに分かれ、自分たちで司会者やタイムキーパーや発表者を決めて、進めさせます。時に、出しゃばりすぎる学生、自己主張が強すぎて周りとの協調性に欠ける学生、意見はあまり言えないが、まとめるのがとても上手な学生、静かにしているが協調性の素晴らしい学生・・・etc.

細かな採点表で、審査委員18名で、細心の注意を払いながら採点。お陰様で、最終的な選考は、大学、出身国、男女の比率もバランスが取れてよい選考ができたと思います。

これから各クラブに奨学生をお願いすることになりますが、是非とも快く受けていただくことをお願いさせていただきます。





奉仕の原点— I A 献血キャンペーン

高田東ロータリークラブ
青少年奉仕委員長
市村雅幸

高田東ロータリークラブ（保坂祐司会長）は毎年恒例の献血活動を年末の12月22日の日曜に上越市富岡のイオン上越店・アコーレで行いました。一日がんばって呼びかけ、合わせて68人から協力をいただきました。新潟県赤十字血液センターから年末年始の血液不足の時期の協力に感謝され、かかわった人たちみんなが嬉しい気持ちになり、当クラブ伝統の奉仕活動の尊い意義を実感させていただきました。

献血者実績は400ミリリットルで男性58人、女性10人。このほか200ミリリットルの女性協力者も3人いました。協力実績68人に対し、実は受付者は82人でした。開始直後から呼びかけに答えてくれるみなさんが多く、待ち合いの列ができるほど。書類に記入し問診を経て、実際の献血に応じるまで1時間を超える待ち時間が必要になり、残念ながら気持ちだけ、になってしまった協力者もいました。センター側も途中で受け付けを制限するなど調整していただきましたが、複雑な思いにもなりました。同センターによればこれだけの献血者の協力実績は新潟でもないそうです。事前準備と呼びかけの効果をおほめいただき光栄でした。

当日はお正月とクリスマス前の買い物客で終日大にぎわい。開場の午前10時に合わせ、参加していただいた当クラブ提唱の上越高校と関根学園高校のインターアクトクラブのメンバー13人を中心に、会員15人そしてローターアクトからも参加をいただき、10個入りタマゴパックと風船、当クラブの名入りティッシュペーパーの3点セットを準備し、出入りの多い玄関4か所に分かれ、「献血のお呼びかけです」「ご協力をお願いしまーす」と笑顔と大きな声、心をそろえ協力依頼を続けました。

毎年の呼びかけ奉仕に参加して感じるのは、献血の崇高な意義です。まちなかで献血車を見かけることはよくあることですが、呼びかけ側に居る実感は特別です。考えてみれば人命救助に直結する献血ほど大切な社会奉仕活動はありません。にこやかに真剣に呼びかける高校生の姿にも感動しますし、「寒い中、ご苦労さま」と声掛けしてくれるお客様にも感謝の思いです。地味ながら大切な献血奉仕に参加でき充実感いっぱい新年を迎えています。





越後春日山RC主催 公開講座報告

2019－20年度
ロータリー財団地区委員
宮崎朋子（越後春日山RC）

越後春日山ロータリークラブには、様々な世代の会員がおります。近年、例会では、若いも若きも自身の健康や親の介護の話題が多くなりました。そこで当会では、人生100年時代にあたり、1人ではなく、みんなで手を取りながら楽しく、健康的に、そして有意義に老いていこう！というテーマのもと、「るんるん♪下り坂プロジェクト」を立ち上げ、念願のロータリー財団地区補助金を活用し、昨年12月14日に公開講座を実施いたしました。

当日は、「今日から始めるスマート・エイジングのススメ～40歳から輝く暮らしのヒント」と題して、国内外で賢く老いることの大切さやシニアビジネスに精通していらっしゃる、村田裕之氏を講師にお迎えして、約40名の参加者と共に学びました。先生は、なんと、あの「カーブス」の基礎を作られた方だそうです。

当日の内容は下記の通りです。

- ◆これからは健康寿命延伸よりも、要介護の時間をいかに少なくするかが大切。
- ◆単に長く生きるかよりも、いかに長く生きるかが大事。
- ◆スマート・エイジングの4条件
 - 1、体を動かす習慣をつけよう！（適度な筋トレなど）
 - 2、前頭前野を使う習慣をつけよう！（大声で音読する、簡単な計算を解くなど）
 - 3、バランスのとれた栄養習慣をつけよう！（特に玄米は良い）
 - 4、人と積極的に関わる習慣をつけよう！（認知症予防にも効果的）

講師は「他人の役に立つこと、他人に感謝するとき、そして他人が癒されるときには、自分自身も幸福感に包まれる」とおっしゃいました。まさに、ロータリーライフは、スマート・エイジングの特効薬なのだと痛感した1日でした。

最後に、当日、お忙しい中をご参加いただきましたロータリアン、そしてお知り合いにご紹介いただきました皆様に、心より感謝申し上げます。

当会では、会員それぞれの専門分野を生かし、これからも「るんるん」を続けてまいります。今後とも、どうぞよろしく願いいたします。



新発田ロータリークラブによる こども食堂支援事業について

新発田ロータリークラブ
社会奉仕委員会委員長
田上正幸

新発田ロータリークラブでは、2016～2017年度（高澤大介会長）から毎年度「フードバンクしばた」（代表は当クラブ会員佐藤哲也氏）に寄付を行うとともに、「フードバンクしばた」の4つの事業の要素である「こども食堂事業」と「フードバンク事業」への支援を行っています。

こども食堂は、ほぼ毎週土日の昼食時に市内の長徳寺（土曜日）と個人宅（日曜日）で開催され無料です。25名～30名程の子どもとそのお母さまが来られます。（夏休み中は開催される日数が増加します。）当クラブでは、12月のクリスマスから始まり節分・ひな祭り・こどもの日の4×2回、それぞれクリスマスケーキ・恵方巻などを菓子製造や割烹に携わる会員の協力を得て提供させていただいています。昨年12月21日（土）22日（日）にはそれぞれ9号のクリスマスケーキを提供させていただき、新潟日報・テレビ新潟の取材もあり、23日の新潟日報で紹介されました。フードバンク事業である大晦日のお節料理の提供については、割烹にて「フードバンクしばた」の方に贈呈し、その方が一人で戸別に配達する方法をとっています。（正午頃から19時頃までかかるということです。）

2016年に初めてこども食堂への支援について聞いた時、「子ども達の健全な成長・能力の伸長が貧困が理由で妨げられるとすれば非常に残念で日本にとっても損失だ。こども食堂への支援はその改善につながるから大切なことだ。」と思ったのを覚えています。しかし現実としては、そんな将来のことより、今普通に食事をして栄養を摂取することができない子ども達がいる。学校給食のない土曜日・日曜日にもちゃんとした食事を提供する。それがこども食堂の第一の目的だ、と感じています。また、もう一つの意義としては、多くの子ども達やお母さま達が、にぎやかにその時間を楽しみながら食事をとれるということもあると思います。

「フードバンクしばた」の事業としては、フードバンク事業・就学支援事業・こども食堂事業・制服リサイクル事業の4つがあります。私たち新発田ロータリークラブの寄付・支援は、そのほんの一部に対してでしかありません。多くの市民の様々な支援で成り立つ「フードバンクしばた」の活動が、今は困窮する子ども達の明るい未来につながることを願い信じています。





ストリングスアンサンブルの調べ 活動報告

糸魚川中央ロータリークラブ
新日本フィルアンサンブル
コンサート実行委員会会長
月岡精一

今から15年前、山の中の廃校となった小学校体育館をお借りして始めた演奏会が今では社会奉仕委員会活動として糸魚川RC・糸魚川中央RC合同で毎年開催してまいりました。

市民の皆様から楽しんでいただき、レベルアップになると云って喜んでいただいています。2016年駅北大火で被災された方々に元気になっていただくため、ロータリアン皆様よりいただいた義捐金の一部を演奏会に利用させていただきました。

これからも社会奉仕として、本クラブで継続していきたいと思っています。







第二回地区行事報告

2019-20年度
第2560地区ローターアクト副幹事
荒木優（三条RAC）

皆様こんにちは。ローターアクト地区副幹事の荒木優と申します。私から令和元年11月23日(土)に、上越市高田にて行われました第二回地区行事の報告をさせていただきます。参加者としては、地区青少年奉仕委員長の石倉悟様をはじめとした6名のロータリアン様、県内全9クラブよりローターアクター23名、合計29名の参加者にて行われました。

今行事の目的は、以下の3つになります。

- ① 城下町高田の歴史に触れ、新潟の知識を深める。
- ② 着物を着ることを通じて日本文化と親しむ。
- ③ 行事を通じて普段とは異なった雰囲気の中で親睦を深める。

まず参加したローターアクターは、今行事のメインの一つである着物を着付師の方より着せていただき、その後のプログラムへ。

一つ目のプログラムは、国登録の有形文化財である「百年料亭 宇喜世」にて館内見学・記念撮影。そして、江戸時代末期にまで遡るといふ由緒ある書院造の趣ある建物で、歴史を感じながらおいしい昼食をいただきました。

二つ目は今行事のメインプログラムである「フォトウォークラリー」。もちろんただのフォトウォークラリーではなく、高田駅周辺の歴史的な施設やスポットなど、高田文化に触れられる場所をお題にした写真のポイントにて、班ごとに集合写真を撮って来てもらうというものです。どのような写真があったのか気になる方は、Facebookにて各ローターアクトクラブが活動報告を投稿しておりますので、そちらをご覧くださいと思います。

そして三つ目のプログラムは、こちらも国登録の有形文化財である「高田世界館」の見学を行いました。現役で営業している映画館としては日本最古級と言われている建物をスタッフの方より紹介後、フィルムショートムービーを見せていただきました。

全体を通して、着物を着て街歩きをする・歴史ある高田の街を知る・なかなか訪れることのできない場所に行くなど、ローターアクトだからこそできる体験と交流をしてもらえたのではないかと思います。

最後になりますが、今回は多くのロータリアンの皆様よりご協力をいただき開催することができました。着物をご用意いただいた長岡東ロータークラブ小川様、着付けをしていただいた高田東ロータークラブ小坂様・着付師の長崎様、また、今回の行事を開催するにあたりご協力いただいた皆様、誠にありがとうございます。今後もローターアクトをよろしくお願い致します。



ガバナー公式訪問日程（2月）

2月の公式訪問						
月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3	4	5	6 頸北⑦ 越後春日山⑦	7	8	9
10 高田東⑦	11 建国記念の日	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23 天皇誕生日
24 振替休日	25	26	27	28	29	

新会員(敬称略)

RC	氏名	入会日	会社名	役職	職業分類
巻	関 武宣	2019.12.1	上越建設工業(株)	代表取締役社長	請負建築
高田	早川 清	2019.12.6	平安セレモニー(株)	統合本部 部長	総合結婚式場
新潟万代	渡辺 さゆり	2019.12.13	オフィスHanako(株)	代表取締役	建設業
新潟万代	渋木 和俊	2019.12.16	ソニー生命保険(株) 新潟LPC第2支社	部長	生命保険
新潟万代	清水 藤吾	2019.12.16	司法書士法人ライズアクロス 新潟支店	支店長	司法書士
新潟万代	長沼 茂夫	2019.12.16	(株)アド・メディック	代表取締役	イベント・企画
新潟万代	小川 かおる	2019.12.16	(株)ランネル	代表取締役	不動産業

訃報

RC	氏名	逝去日	会社名	役職	職業分類
柏崎	遠藤 邦彦	2019.12.20	(株)北野屋	代表取締役社長	スポーツ用品販売

心よりご冥福をお祈り致します。

(敬称略)

第2560地区 2019-20年度12月末 会員数およびMy Rotaryアカウント登録率

R C	例会数	My Rotary アカウント 登録率	会員数			
			2019年 7月1日	12月末 会員数	うち女性	増減
第1分区(9クラブ)	4	-	381	385	37	4
新発田	4	21.1%	91	95	0	4
村上	4	18.9%	36	37	9	1
水原	4	20.0%	30	30	1	0
中条	4	100.0%	39	40	4	1
新発田城南	4	13.0%	47	46	4	-1
豊栄	4	17.4%	23	23	3	0
新発田中央	3	4.2%	50	48	5	-2
中条胎内	3	55.6%	37	37	6	0
村上岩船	4	24.1%	28	29	5	1
第2分区(9クラブ)	4	-	424	447	26	23
新潟	4	16.8%	84	95	2	11
新潟東	4	15.5%	54	58	8	4
新潟南	3	33.7%	103	104	3	1
佐渡	3	100.0%	6	6	0	0
新潟西	3	53.8%	37	39	1	2
佐渡南	4	9.8%	41	41	5	0
新潟北	4	26.8%	38	41	0	3
新潟中央	4	38.1%	22	21	0	-1
新潟万代	4	50.0%	39	42	7	3
第3分区(6クラブ)	4	-	109	110	5	1
新津	4	11.1%	19	18	0	-1
村松	4	72.7%	10	11	0	1
五泉	3	0.0%	12	12	1	0
白根	3	23.5%	31	34	1	3
新津中央	4	29.6%	28	27	2	-1
阿賀野川ライン	4	0.0%	9	8	1	-1
第4分区(11クラブ)	4	-	370	376	28	6
三条	3	10.3%	56	58	0	2
燕	3	5.6%	33	36	3	3
加茂	4	10.3%	28	29	4	1
三条南	3	12.8%	48	47	3	-1
分水	4	80.6%	28	31	4	3
見附	3	9.5%	20	21	1	1
吉田	3	3.2%	31	31	4	0
三条北	4	0.0%	60	59	2	-1
巻	4	0.0%	25	24	1	-1
田上あじさい	4	14.3%	7	7	1	0
三条東	4	6.1%	34	33	5	-1

R C	例会数	My Rotary アカウント 登録率	会員数			
			2019年 7月1日	12月末 会員数	うち女性	増減
第5分区(7クラブ)	3	-	305	319	26	14
長岡	3	92.3%	46	52	4	6
柏崎	3	2.2%	41	45	0	4
長岡東	3	24.1%	58	58	3	0
柏崎東	4	18.4%	48	49	4	1
栃尾	4	13.0%	22	23	0	1
長岡西	3	18.2%	54	55	5	1
柏崎中央	4	27.0%	36	37	10	1
第6分区(6クラブ)	3	-	141	141	10	0
十日町	3	19.4%	28	31	3	3
小千谷	3	9.1%	32	33	2	1
雪国魚沼	3	4.2%	26	24	2	-2
十日町北	3	4.3%	23	23	2	0
津南	3	16.0%	26	25	1	-1
越後魚沼	4	16.7%	6	5	0	-1
第7分区(8クラブ)	3	-	322	332	21	10
高田	3	38.7%	59	62	1	3
直江津	4	30.1%	64	72	7	8
新井	3	0.0%	33	33	1	0
糸魚川	3	97.6%	42	41	2	-1
高田東	4	66.7%	36	36	2	0
糸魚川中央	5	51.4%	35	33	0	-2
頸北	3	28.6%	13	14	2	1
越後春日山	3	97.6%	40	41	6	1

クラブ数	56 クラブ
7月1日 会員数	2,052 人
12月末 会員数	2,110 人
女性会員数	153 人
純増減会員数	58 人
My Rotaryアカウント登録率	28.3 %

【地区予定表 2 - 3月】

2月	- 平和と紛争予防／紛争解決月間 -		
	1 (土)	第2回米山記念奨学委員長セミナー	万代シルバーホテル
	8 (土)	長期交換学生オリエンテーション	上越市民プラザ
	15 (土)	第2回地区ロータリー財団セミナー 兼 資金管理セミナー	万代シルバーホテル
	16 (日)	ガバナーエレクト帰国報告会・地区諮問委員会・地区運営会議	ホテルオークラ新潟
3月	- 水と衛生月間 -		
	6 (金)	第7回日台ロータリー親善会議福岡大会	ホテルニューオータニ博多
	6~8 (金~日)	青少年交換学生スキー国際交流研修	妙高杉ノ原スキー場
	7 (土)	米山記念奨学生終了式・歓送会	ホテルイタリア軒
	7 (土)	財団ミーティング	万代シルバーホテル
	7 (土)	新会員・会員増強セミナー	やすね
	14 (土)	佐藤年度 クラブ会長エレクト研修セミナー (PETS)	大観荘 せなみの湯
	19~22 (木~日)	青少年交換学生 2020関西研修旅行	関西
	21~22 (土~日)	ローターアクト全国研修会	名古屋
	26~29 (木~日)	インターアクト海外研修	台湾



今回はロータリー財団の補助金を活用した公共イメージと認知度の向上例を紹介します。

当2600地区の松本市は三つの「ガク都」をうたっています。優先順位はありませんが一つは市内から身近に見える北アルプスの雄大な山々の玄関口としての「岳都」、二つ目は信州大学や松本大学などのキャンパスがある街としての「学都」、そして三つ目は国際的な音楽祭「セイジ・オザワ松本フェスティバル」やバイオリンなど弦楽器の指導法「スズキ・メソード」発祥の地でもある街としての「楽都」です。

そこで当地区で最も歴史のある松本ロータリークラブは公共イメージと認知度の向上と「楽都」としてのPRを願ってユニーク且つ大変意義のある取り組みをしました。

NHKテレビに『駅ピアノ、空港ピアノ』という番組があります。駅や空港など多くの人々が行きかうスペースにピアノを置いて誰でも自由に弾く事が出来るというものです。

そんな公共の場にピアノを置く「ストリートピアノ」が欧米で広がりを見せている事から松本の玄関口で楽しくピアノを弾いてもらい音楽が溢れる空間を創りだそうと願い松本ロータリークラブの直前会長、折井正明さんを中心に財団補助金とクラブの支援でピアノを購入「楽都まつもと夢ピアノ」と名付けJR松本駅自由通路に設置しました。お披露目コンサートには駅の利用者など100名近くが集まり長野市出身でワルシャワ在住のピアニスト山本貴志さんがショパンの2曲を演奏したり小学校5年生がジャズを演奏し聴衆を楽しませてくれました。ピアノの脇には私達ロータリアンの誇りのシンボルであるロータリーエンブレムが大きく入ったスマートなアクリル板が置かれロータリークラブがこのピアノを設置した事を人々に伝え公共イメージと認知度の向上に大いに役立っています。この奉仕活動はテレビや新聞で大きく取り上げられましたが一か月半後にも新聞で一面カラーで再度報道されました。そして嬉しいことにこのピアノの調律師が松本ロータリークラブに入会するという事もあり、やはり公共イメージと認知度の向上が会員増強の為にも不可欠だと改めて実感しました。日本中の多くの駅や空港などでロータリークラブが設置したピアノが多くの人々の心を和ませ結果としてロータリーの公共イメージと認知度の向上になり更に会員増強に繋がるならば夢の様な素晴らしい事ではないでしょうか。

第2地域ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 原 拓男



1. 第4代よねやま親善大使を募集



ロータリー米山記念奨学会では、第4代よねやま親善大使を募集しています。「よねやま親善大使」には2013年からこれまでに計8人の大使が任命され、日本全国のロータリー地区大会・セミナー・例会などで米山学友の代表としてスピーチすることにより、当事業への理解を広める活動をしています。日本国内在住の米山学友（現役奨学生を除く）で、スピーチが得意な方、ロータリー

活動に熱意のある方の応募をお待ちしています。任期は2020年7月からの2年間です。応募締切は、2月19日（当会必着）です。詳しくは、当会ホームページの「News & Topics」>「重要なお知らせ」をご覧ください。お知り合いの学友で適任の方がいれば、ぜひご推薦ください！（学友本人からの応募が必要です）



2. 海外応募者対象奨学金申し込み状況

7年間の試行を経て、2019学年度から正規プログラムとなった海外応募者対象奨学金は、日本での留学先を決定している外国人が海外から直接応募できる渡日前予約型奨学金です。在日留学生からの選考ではないため、留学生の国籍や人材の多様化が期待されます。

2020学年度の募集には、12月15日の締切までに世界35の国・地域から168件の申し込みがあり、無資格者を除く有効申込数は101件（複数校を併願している者の重複を含む）とな

りました。有資格者の出身国・地域はインドネシア、ベトナムが多く、ロータリー地区別では34地区中29地区に申し込みがあり、最多は第2760地区（17件）、次いで第2510地区と第2580地区（各12件）となっています。今月6日から地区へ応募書類を郵送しており、今後、地区選考委員会による書類選考（地区によってはSkype等による面接あり）を経て合格者が決定します。

3. 寄付金速報 — 前年度に比べてやや減少 —

12月までの寄付金は前年同期に比べて1.6%減（普通寄付金:0.2%増、特別寄付金:2.2%減）となりました。約1,400万円の減少ではありますが、皆さまからのご寄付に心より感謝申し上げます。「2019年度 下期普通金寄付のお願い」を当会から直接、またガバナー事務所を通じて全クラブへご案内しています（既に下期分の寄付を送金いただいたクラブにも自動配信されます、何卒ご了承ください）。普通寄付金は当事業の重要な安定財源であり、また、国内

全クラブから普通寄付の確約を得て財団法人の認可がおりたという経緯もあり、全クラブへお願いしております。2020年も引き続きご支援賜りますよう、よろしくお願いいたします。

昨年1年間（1～12月）に特別寄付をしたすべての方、もしくは普通寄付金の領収証を申請したクラブには、1月末日までに（確定申告に間に合うように）、認定証の写しが付いた申告用領収証をロータリークラブ宛に送付します。

4. 2020-21 年度地区米山奨学委員長セミナーを開催

次年度地区米山記念奨学委員長を対象とする第1回セミナーを12月10日に開催しました。

午前は、主に初めて委員長を務める方と希望者を対象とした「基礎研修会」とし、選考・学務委員の安増惇夫理事（第2700地区）から「委員長の一年」と題する講話をいただきました。午後からは「合同研修会」となり、各種説明の後、4グループに分かれて「理解促進から寄付増進へ」「選考について」「奨学生育成から学友会」の各テーマにつ



いてディスカッションしていただきました。

参加者アンケートから見る満足度では、講話「委員長の一年」とグループ

ディスカッションが特に「参考になった」と評価が高く、滝澤功治常務理事／規定検討委員会委員長からの「業務委託について」の説明が続きました。セミナー終了後の懇親会で、地区を越えたネットワークがさらに深まった様子でした。第2回セミナーは、新年度直前の6月22日（月）に開催予定です。

5. ロータリーの輪で実現「こころのサンタ運動 in 千葉」

大阪府枚方市で英語スクールの運営する米山学友のカレン・ジュリア・ウォータースさん（オーストラリア／1992-94／京都南RC）は、日本の子どもたちに「奉仕の精神」と「人を思いやる心」を育てたいと、さまざまな奉仕活動を行っています。その一つとして6年前から行っているのが「こころのサンタ運動」。英語スクールの生徒たちが菓子を持ち寄り、街頭募金で集めた寄付金を、その年に日本国内で大きな災害に見舞われた地域の子どもたちへ贈る活動です。

今回は、昨年台風で被災した千葉県で受け入れ先を探し、第2790地区米山記念奨学委員会の鈴木荘一委員長と鋸南RCの清水一成会長の協力により2地域での受け入れが実現しました。12月24日の朝、プレゼントを車に満載し



て千葉県に到着したカレンさん一行は、君津市の「はぐくみの杜」を訪問。大喜びの子どもたちに見送られて鋸南町に移動し、町立鋸南保育所の園児たちと英語の歌遊びを楽しみ、一人ひとりにプレゼントを手渡しました。また、スクールの

子どもたちが街頭募金で集めた寄付は、清水会長を通じてその日のうちに鋸南町教育委員会へと届けられました。

翌日、大阪に戻ったカレンさんの元に、東京オリンピックの聖火ランナーに選ばれたという吉報が届きました。「子どもたちのためにますます頑張ります！」と、カレンさんは意気込みを語っています。



2月の海外米山学友会総会

◆マレーシア◆ 2020年2月16日（日）14:00～17:00／会場：YMCA KL／申込み：yoneyama.malaysia@gmail.com

◆タイ◆ 2020年2月22日（土）17:00～18:00 総会 18:30～ デイナー／会場：S31 Hotel／申込み：thaiyoneyama@gmail.com（担当：ワシン）

本年もどうぞ
よろしくお願
いします！

